

アルツハイマー病の 現状と治療戦略



— 2015 —
11/16
[MONDAY] 16:30-

立命館大学
びわこ・くさつキャンパス
エポック立命21, 3階

講演会 **K310教室**
16:30-18:00

交流会 **K309教室**
18:00-18:30

参加費 **無 料**

講演者 **北村佳久氏** [立命館大学薬学部(創薬科学科)教授
(薬効解析科学研究室)]

神秘的な小宇宙、『脳』。しかし、老化、遺伝的原因などにより脳のホメオスタシスが破綻したとき、アルツハイマー病などの神経変性疾患を発生します。超少子高齢化社会を迎えた現在、老化とともに発症頻度の高まる神経変性疾患の治療薬開発は急務の課題であり、多くの製薬企業も参入していますが、特効薬はありません。本講演会では、私たちの身近でも経験しうる認知症、アルツハイマー病に焦点を当てて、専門家ならではの学術的な観点で、且つ一般の方にも分かりやすい内容で、発症メカニズムと根本的治療法の開発動向について語っていただきます。

お申し込み

「氏名 / 所属 / メールアドレス」をご明記の上、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。
立命館大学BKCリサーチオフィス 立命館科学技術振興会 事務局 担当: 鶴重・福崎
TEL 077-561-2802 FAX 077-561-2811 MAIL aster@st.ritsumeai.ac.jp

みんないつかは認知症になる？

立命館科学技術振興会 ASTER主催 講演会
みんな、いつかは認知症になる？
アルツハイマー病の現状と治療戦略



参加費
無料

2015
11/16
[MONDAY] **16:30-**

立命館大学
びわこ・くさつキャンパス
エポック立命21, 3階

講演会 **K310教室**
16:30-18:00

交流会 **K309教室**
18:00-18:30

講演者 **北村佳久氏** [立命館大学薬学部(創薬科学科)教授
(薬効解析科学研究室)]

1988年に北海道大学にて薬学博士を取得後、北海道大学や京都薬科大学薬学部での勤務、ドイツ・フライブルク大学医学部精神神経薬理学講座 客員研究員(アレクサンダー・フォン・フンボルト財団奨学研究員)等を経て、2015年4月より、立命館大学薬学部(創薬科学科)の教授に就任。研究テーマは「神経変性疾患の発症メカニズム解明および根本的治療戦略の開発」。1992年より日本薬理学会の評議員、2000年より日本神経化学学会の評議員、2012年より2014年まで日本薬理学会の代議員を務める。

お 申 し 込 み

立命館大学BKCリサーチオフィス 立命館科学技術振興会 事務局 担当:鶴重・福崎
FAX 077-561-2811 / MAIL aster@st.ritsume.ac.jp

申込締切 **2015年11月12日(木)必着**

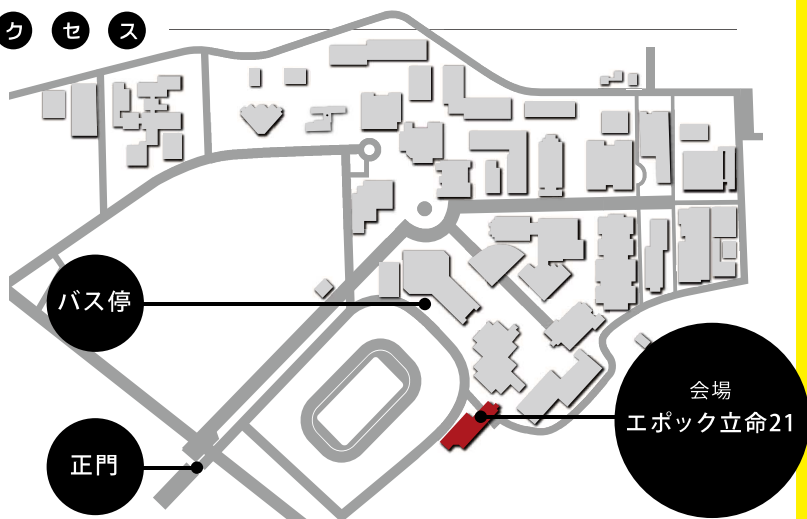
ご氏名	
所属機関・職名 (学生は学年)	
メールアドレス	

ア ク セ ス

R 立命館大学
びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
お問い合わせ
立命館科学技術振興会 担当:鶴重・福崎
TEL 077-561-2802 FAX 077-561-2811
MAIL aster@st.ritsume.ac.jp
RITSUMEIKAN

アクセス

JR東海道本線(琵琶湖線)「南草津駅」下車、東口より近江鉄道バス「立命館大学行き」にて約10分「立命館大学正門前」または「立命館大学」下車



会場
エポック立命21

正門

バス停